

GPG-2000

デジタル入出力インタフェースモジュール用 Linux/RT ドライバ



概要

本製品は、Linux アプリケーションから、弊社デジタル入出力製品を制御するためのソフトウェアです。弊社デジタル入出力製品を Linux アプリケーションから Lib をリンクし関数をコールすることにより制御します。

特長

- 階層化ドライバと各種統一、共通化により、関数レベルでボード型式を意識する必要がありません。(ボード固有機能は除く)
- BYTE, WORD, DWORD 単位の入出力ができます。
- 任意の接点数での入出力ができます。
- 最小 3 μ s(型式により仕様が異なります。)のパルス出力(PULS.OUT1, PULS.OUT2)を行うことができます。
- 割り込み発生時、ユーザアプリケーション内に定義した関数を実行させることができます。
- 付属の自己診断プログラムにより動作不具合時の原因がハードウェア的なものかソフトウェア的なものか容易に判断することができます。
- 付属のユーティリティプログラムによりプログラムを作成することなしにボードの基本的な動作を行うことができます。
- 機能や使い方を説明するオンラインヘルプをサポートしていますので、開発中に関数の詳細説明など、簡単に参照することができます。

対応 OS

Interface Linux System 8 64bit
Interface Linux System 7 64bit
Interface Linux System 7 32bit
Interface Linux System 6 64bit
Interface Linux System 6 32bit
Interface Linux System 32bit

対応言語

注意事項

—